

いたばし災害ボランティアセンターについて

災害ボランティアセンターについては、平時からいたばし総合ボランティアセンター（以下「ボラセン」という。）に常設されているが、災害時には、小豆沢体育館に設置され、区内の災害ボランティアの中核を担う。

令和2・3年度に開催した「いたばし総合ボランティアセンターあり方検討会」にて、別途関係機関（区（危機管理部・地域振興課）、社会福祉協議会）で検討会を設けることとしたため、令和3年10月から災害ボランティアセンターの運営に関する検討を実施している。

1. いたばし災害ボランティアセンターとは

板橋区が被災した際に、災害支援ボランティア登録やボランティア派遣等のコーディネート業務、ボランティア支援活動に関する情報の収集及び提供、相談窓口の開設、各関係機関、団体等との連絡調整等、災害の状況に応じて必要な支援・業務を行う。

また、ボラセンには、平時から災害ボランティアセンターが常設されており、①災害ボランティアセンター定例会や学習会・研修会の開催、②講師派遣、③区内イベント等での災害ボランティアセンター普及啓発活動、④災害ボランティアセンター設置・運営訓練、⑤広域避難者支援や広域災害支援ネットワークへの参加、⑥災害地派遣事業、⑦報告会・情報交換会への参加、⑧災害ボランティアセンター運営マニュアルの確認・見直し等を行っている。

2. 災害ボランティアセンター検討会の概要

第1回	R3.10.26	・災害ボランティアセンターに関する課題の共有
第2回	R4.1.20	・災害時におけるボランティア支援活動等に関する協定書について ・各機関からの情報共有
第3回	R4.3.18	・災害ボランティアセンター運営マニュアルについて
第4回	R4.6.24	・災害ボランティアセンター運営マニュアル作成について
第5回	R4.9.6	・災害ボランティアセンター運営マニュアル作成について ・災害ボランティアセンター資機材について

3. 災害ボランティアセンター検討会での今年度の主な協議内容

(1)災害ボランティアセンター運営マニュアル

・平成24年に作成された運営マニュアルの見直しを行っている。被災地派遣や設置運営訓練等での経験や、後述の地域防災計画に基づき、発災時（地震・風水害を想定）災害ボランティアセンターを円滑に運営できるよう協議中。

今年度中に新たなマニュアル完成予定。

(2)災害ボランティアセンター資機材

・災害ボランティアが活動する際に必要になる資機材（スコップ等）の拡充については、来年度以降に初動期に必要な資機材の確保を行えるよう協議中。

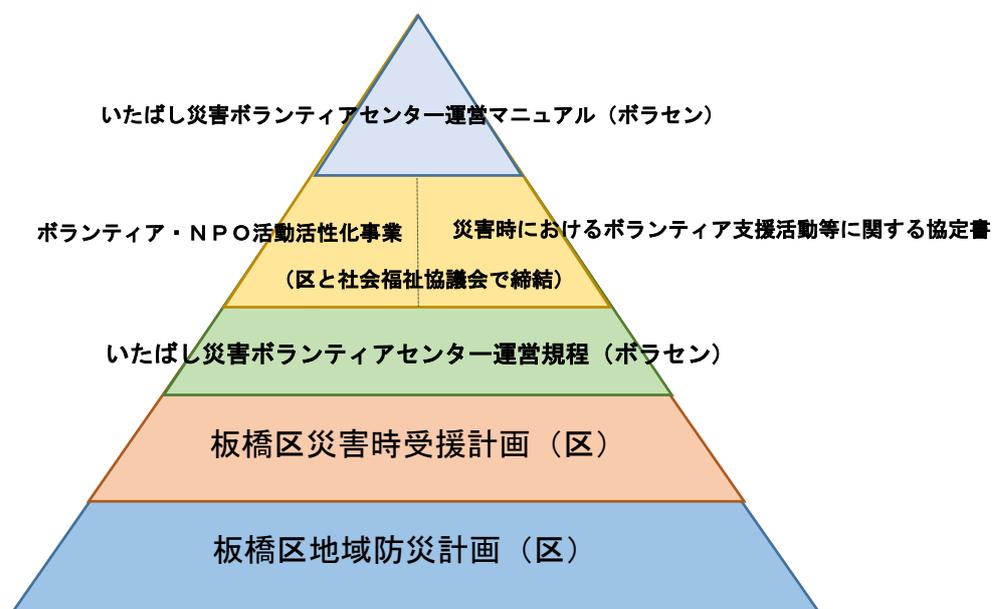
4. 災害ボランティアセンター検討会協議事項の今後の展開について

今年度については、災害ボランティアセンター運営マニュアルを新たに作成し、ボラセン役員会・運営委員会での承認を受けたのち、マニュアルを周知予定。

また、災害ボランティアセンター検討会では、短期的な課題の解決（ex.マニュアル整備、資機材整備等）を中心に、中長期的な課題の整理を行っていく。

5. 関連計画等について

ボラセンが災害時に災害ボランティアセンターを設置・運営するにあたって、規定をしている計画や協定書は以下のとおりである。



計画に基づき、設置場所等が決まっており、それを基に運営規程や協定書・マニュアルを作成し、円滑な災害ボランティアセンターの運営に努めている。

なお、板橋区地域防災計画については次項のように規定されている。

（板橋区地域防災計画（震災編）より抜粋（P97 及び P551））